



【あさぬま きよし さん】長都駅前／72歳

●市民病院に来院する患者の手助けをするボランティアの一員として活躍。日ごろの活動が評価され、4月に市民病院から活動時間1,000時間達成表彰を受ける。

かまず自然体で楽しむボランティアで地域貢献を！

市民病院ボランティアの活動についてのお問い合わせは、市民病院地域医療連携課 電話(24)3000 内線400へ

地

域の基幹病院として市民の医療を守る市民病院。医師や看護師のほかたくさんの方が市民病院を支えています。市民病院には、勤務する各種職員のほかに市民病院を訪れる患者さんの手伝いをするボランティアの会があります。会の名前は「スマイルハートリー」。現在22人が会員として活動しています。浅沼さんはその一員として平成14年の市民病院移転のときからボランティア活動を行っています。

「会社を退職し時間にゆとりができたため、何か地域に貢献をしたいと考えていました。市民病院でボランティアの募集を行っていたので、自分の力を出せるのではと思い応募し

ました」とボランティア活動のきっかけを話します。

ボランティア活動の内容は、診察の申込書の代筆や診療科目の案内、来院予約機の操作の案内など、患者が不安を感じたり困ったりしたときに手伝うことです。このほか、小児科の窓の外に雪だるまをつくったり、院内の花だんの花植えを行ったりとさまざまな活動をしています。

「患者が安心して来院し診察・診療できるよう、ボランティアならではのきめ細かな手伝いを心がけています」と浅沼さん。

「患者の手伝いをするときは、自然に声をかけながら、手を出しすぎないようにしています。患者のありが

たうの声を聞くと充実感が湧いてきます」と活動の実感を話します。

浅沼さんは、ボランティアの通算活動時間が1000時間を超え、実績が評価されて4月に市民病院から『ボランティア1000時間達成表彰』を受けました。

長時間ボランティアを続けてこられたのは、「この活動を通じてさまざまな方と出会い、人の輪がつながり、そして、何より力まず自然体で楽しみながら活動をしてきたから」と話します。

「これからも無理のない範囲で楽しみながらボランティア活動を続け、地域に貢献したいですね」と和やかに話してくれました。

人のいる風景

SCENERY OF PEOPLE



KIYOSHI
ASANUMA

浅沼

潔

さん